

## 丹沢（祠尾根—石棚山）

山行日 5月4（火）天気：晴れ

参加者 3名

記：SF

コース：西丹沢ビジターセンター8：25→五右衛門沢10：00→  
板小屋沢ノ頭10：40→石棚山12：15→石棚・同角分岐13：15  
ツツジ新道・石棚山分岐13：40→展望台14：45→  
ゴーラ沢出合15：40→西丹沢ビジターセンター16：30

以前より気になっていた、祠尾根に行く計画を立てた、この尾根で箒沢に下山では短いので石棚山経由、ツツジ新道の周回コースで行く事にした、この日はゴールデンウィーク中の事もあり、西丹沢ビジターセンター周辺の路肩は満車で、箒杉バス停下の路肩に駐車しての出発となった、今回の登山口は、西丹沢ビジターセンター反対側にある祠の横から尾根に取りつく、何時もと同じで入口には、ロープがありそれを潜り通過、尾根には踏み後があり歩きやすい道です、このルートには境界杭があり、その見ながら行けば、道迷いの心配はない、途中急で広い尾根の部分は、コース選択を自分で行う必要がある、この部分を通過すると、緩やかな丘のなり、丘を右側方面の尾根に行くと、板小屋沢ノ頭に到着する、今場所にもロープがあり、間違っ入らない様になっている、今回のバリリートは通過に約2時間20分位で、短いバリリートを楽しめた、但しこのコースを下山で使用する場合は滑落に危険があるので、注意が必要です、その後は通常の登山道ですが、板小屋沢ノ頭から石棚山までの間は石の多い、急な下りと登りが数回繰り返す為、バリリートよりは歩き難い、石棚山からツツジ新道分岐までは、ブナ林の中で新緑を見ながらコースになります、途中にユーシンより来る、同角尾根分岐があるが、ユーシンまでのコースが閉鎖の為、あまり使用されていない、ツツジ新道をするのは、数年ぶりですが分岐から展望台までの間は、急な石が多いコースでなお浮石もあるので、特に下山には注意が必要今回、ぶんきより数分した箇所、女性3人のグループで足の捻挫の為に救急要請を行った人に会いました、偶然この場所で携帯が繋がった為に連絡が取れたとの事でした、その後下山中に3名の神奈川県警の山岳救助隊にその後6-7名の小田原消防署救助隊にいました、1名の登山者の救助にこれだけの人が必要な為に、登山中の怪我には注意が必要と感じた、その後もゴーラ沢出合までは、急な石の多い登山道でした、ゴーラ沢出合では、渡渉場所が、わかりにくいのと、数量が多い場合は、靴を抜いての渡渉になる場合もあります、ゴーラ沢出合から西丹沢ビジターセンター間は歩きやすい道で、特に危険な場所もありません。



今回の登山口 祠のよこから



この斜面を直登した





尾根より振り返った



急斜面を直登



正面の立木にペンキでマーキング  
この尾根は下りに侵入禁止



この岩を登る



今回の一番危険な斜面  
広いのでコース取りに  
注意





この場所はザレタ場所なので滑り安い



ザレタ場所を痛快



ここにもルート表示がある  
バリルートなので本来はマークは禁止



板小屋沢ノ頭に到着  
ロープが張ってある



左側が葦沢よりのルートで  
右側の尾根を祠尾根ルート



通常ルートですが土で滑りやす





時間が早いがこの場所で昼食



天気も良いので丹沢湖も見える



ヤブサワノ頭手前の登り



ヤブサワの頭の到着



同角尾根 分岐手前最後のぼり



県民の森經由 玄倉バス停への分岐





石棚山 この標識は古い物で、現在は使用されていない



今場所はブナ林で新緑がこれからきれいな季節になる



同角尾根 分岐  
ユーシンへの  
ルートが崩落で  
通行禁止の為利用者は少ない





山桜が 3-4 部咲き



ツツジ新道分岐 ここからは下り



展望台まで下ったが岩の多く急な下りの為時間が掛かった



ゴーラ沢出合手前



下山途中であつたけが人救助の為小田原消防署救助隊に合った 6-7名

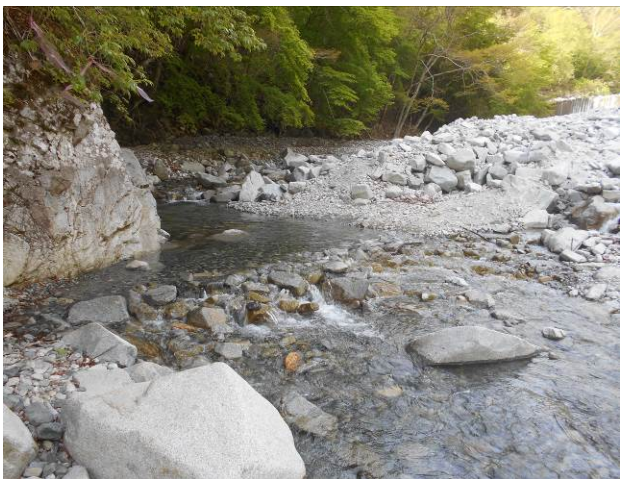




ゴウラ沢出合手前の細尾根



ゴウラ沢出合 ルート表記



渡渉ポイント 数量が多い時は  
渡れない



西丹沢ビジターセンターへは堤の  
手前がコース



ツジ新道入口近くの沢



無事に下山





ツツジ新道入口



ゴールデンウィークでキャンプ場  
満員状態



西丹沢ビジターセンターへ到着



上空をヘリが旋回 先ほどの救助かも



無事下山で祠に挨拶